

# 北海道石狩郡当別町太美方言の待遇表現

道場 優

## I. はじめに

(1) 調査対象地：当別町は、北海道の中央西部を流れる石狩川が石狩平野と合流する中流域に位置し、全町は一帯が田園の穀倉地帯である。東は新十津川町、浦白町、月形町、新篠津村、西は江別市、南は石狩市、厚田村、北は浜益村接し、札幌市とは石狩川を隔てて隣接している。人口は19,876人（平成8年1月現在）である。産業の中心は農業である。

太美地区は、当別町の西部にあり、一帯は田園地帯である。石狩川を隔てて札幌市と隣接している。札幌大橋とJR札沼線により、列車、車とも札幌市街地までの所要時間は約40分である。就業人口の中心は農業であるが、近年、宅地化が進み主に札幌市へ通勤するサラリーマンが増え、人口も激増し、4,739人（平成8年1月現在）である。

(2) 調査年月日： 1997年1月8日 午前10時30分～午前12時

(3) 話者： 島田フミ氏 昭和3年1月1日生（69歳） 農業（野菜栽培）

(4) 調査者・調査場所： 道場 優、話者自宅

(5) 調査方法： 統一調査票による質問調査

(6) その他：①発話はカタカナで表記する。ガ行鼻音はガ・キなどで示す。②アクセントは棒引きで表わす。③話者の説明は（ ）内に、調査者の注記は< >内に記す。④文例は○印で示す。

## II. 調査結果

### I. 尊敬表現

#### I-1 対者敬語

(1) A お前は（普通の会話は省略する。アラ～となる。）

元気かね ①ゲンキダッタ / ②オゲンキダッタ。

B あなたは ○アンタ

元気かね ①オゲンキデスカ / ②オゲンキデシタ。

C あなたは ○オジサン<目上の男の人に対して>

元気かね ①ゲンキダッタ / ②ゲンキデスカ。

(2) A あしたは家に居るか ①アンタ アシタ オリマスカ。 / ②イルカイ。

B あしたは家に居るか ①オクサン アシタ オリマスー。 / ②オリマスカ。

C あしたは家に居られますか ○アシタワ イエニ オラレマスカ。

(3) A あした行くか ①アシタ ドッカ イクカ。 / ②アシタ イク。

- B あした行きますか ○アシター イキマスカ。
- C あした行きますか ○アシタ イキマスカ。
- (4) A 温泉に行かないか ○アシタ オンセンニ イカナイカーイ。
- B 温泉に行かれませんか ○アーシタ オンセンニ イキマセンカー。
- C 温泉に行かれませんか ①オンセンニ イッテ アソンデキマセンカー。  
/②イキマセンカー。
- (5) A しますか ○アシター ドンナシゴト スルンデスカ。
- B されますか ①シマスカ。/②アシタ ドンナシゴト シテルンデスカ。
- /③スルンデスカ。
- (6) A 見ましたか ①チョット ミトコーモン ミテマサー。/②ミテマスカ。
- /③ミタカイ。(友達には)
- B 見ましたか ○ミトコーモン ミマシタカー。
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ○ユーベ ナンジニ ネタノー。
- B ゆうべは何時に寝ましたか ①ナンジニ ネマシタカ。/②ナンジニ ヤス  
ンダノー。
- C 寝てください ○ネテクダサイ。
- (8) A どこに行っているか ○イマ ドコ イッテルノー。
- B どこに行っていますか ○ドコ イッテマスカ。
- C どこに行っていますか ○ドコ イッテンデスカ。
- (9) A どうぞ食べてくれ ①チョット タベテチョーダイ。/②チョット タベナ  
サイ。
- B どうぞ食べてください ①エンリョシナイデ タベテ。(多く使う)/②タ  
ベテクダサイ。
- C どうぞ食べてください ○タベテクダサイ。ドーゾ。
- (10) A その写真を私に見せてくれないか ○アラー ソノ シャシン ミセテ。
- B その写真を私に見せてくださいますか ○ワタシニモ ミセテクダサーサイ。
- C その写真を私に見せてくださいますか ○スイマセンケド ソノ シャシ  
ン ミセテクダサーイ。

I-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう ○アシタワ イエニ イルンデナイデスカ。
- B あしたは家に居るだろう ○アシタワ イルンデナイデスカ。イエニ。
- C あしたは家におられるでしょう ○アシタワ アノシト イエ イルンデナ  
イデスカ。
- (12) A 居なかった ○イッテミタラ イナカッタヨ。
- B 居なかった ○イナカッタ。

- C 居なかった ○イッテミタケド イナカッタデスヨ。
- (13) A そう言った ①ソー ユツテマシタ。／②ユツテイマシタ。  
B そう言った ○ソー ユツテマシタ。
- (14) A 今そこに行っていた ①イマ ソコニ イッタヨ。／②イツテイタ。／イマ ソコニ イッタ。  
B 今そこに行っておられた ①イツテマシタ。／②イツテマシタヨ。  
C 今そこに行っておられた ○イツテオラレタ。
- (15) A 友達が来ている ①トモダチガ キテイルヨ。／②キテルヨ。  
B 来ている ①キテマスノデ。／②キテイマスノデ。  
C 来ている ①キテマスノ。／②キテイマス。
- (16) A 仕事をしている ○アノシト シゴト シテルンダト。  
B 仕事をしている ○シゴト シテルダト。
- (17) A 見せてもらった ○ミセテモラッタ。  
B 見せてもらった ①ミセテモラッタ。／②ミセテモラッタヨ。  
C 見せてもらった ①ミセテイタダイタ。／②ミセテイタダイタヨ。／③ミセテイタダイタカラ。
- (18) A 見せてくれた ①ミセテモラッタ。／②ミセテクレタカラ。  
B 見せてくれた ○ミセテモラッタ。  
C 見せてくれた ○ミセテモラッタ。
- (19) A 私にくださった ①コレ イタダキマシタヨ。／②ワタシニ クダサッタ。  
B 私にくださった ①ワタシニ イタダイタノデ。＜私がいただいたの意味＞  
／②コレ イタダキマシタノ。／③イタダイタカラ。／④ワタシ クレタノ。  
／⑤コレ クダサッタノー。
- (20) A いただいた ○イタダイタ。  
B いただいた ○イタダイタ。

## II. 謙讓表現

### II-1 謙讓表現

- (21) A 私も ○ワタシモ ゲンキダヨ。  
B 私も ○ワタシモ ゲンキデスカラー。  
C 私も ○ワタシモ ゲンキデスヨ。
- (22) A 十分に食べました ○ジューブン イタダキマシタ。  
B 十分に食べました ○ジューブン イタダキマシタ。
- (23) A 持ちましょう ○モチマスカ。  
B 持ちましょう ①モチマスネ。／②モチマショー。／③モチマスカ。

- (24) A 待たせたね ○マ<sup>→</sup>タセタネー。  
 B お待たせしました ○オ<sup>→</sup>マタセシマシタネー。  
 C お待たせしました ○オ<sup>→</sup>マタセシマシタネー。
- (25) A 駅で待っているよ ○エ<sup>→</sup>キデ マッテルカラ。  
 B 駅で待っていますよ ○エ<sup>→</sup>キデ マッテマスカラ。  
 C 駅で待っていますよ ○エ<sup>→</sup>キデ マッテイマスカラ。
- (26) A 言ってくれ ①イ<sup>→</sup>ツテチョーダイ。／②ユ<sup>→</sup>ツテチョーダイ。  
 B 言ってくれ ①イ<sup>→</sup>ツテクダサイ。②ツ<sup>→</sup>タエテクダサイ。  
 C 言ってくれ ○イ<sup>→</sup>ツテクダサイ。
- (27) A これをやろう ①ア<sup>→</sup>ゲルカラー。／②ア<sup>→</sup>ゲルヨ。／③コレ ア<sup>→</sup>ゲルネー。  
 B これをあげましょう ○コレ ア<sup>→</sup>ゲマスカラー。  
 C これをあげましょう ○コレ ア<sup>→</sup>ゲマスカラ モッテイ<sup>→</sup>ツテクダサイ。

## II-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった ○コレ カ<sup>→</sup>ツテヤッタノー。  
 B 買ってやった ①コレ カ<sup>→</sup>ツテアゲタノー。／②カ<sup>→</sup>ツテヤッタ。  
 C 買ってやった ○コレ カ<sup>→</sup>ツテアゲタノー。(多く使う)
- (29) A 主人はもう帰っている ○カ<sup>→</sup>エツテオリマスー。  
 B 主人はもう帰っています ①カ<sup>→</sup>エツテマス。／②シュ<sup>→</sup>ジンワ カ<sup>→</sup>エツテオリマス。

## III. 丁寧表現

- (30) A 行くよ ○イク<sup>→</sup>ヨー。  
 B 行きます ○ア<sup>→</sup>シタ イキマス。  
 (31) A 寒いね ○キ<sup>→</sup>ヨーワ サムイネー。  
 B 今日は寒いね ○サムイデスネー。キ<sup>→</sup>ヨーワー。  
 C 今日は寒いですね ○キ<sup>→</sup>ヨーワ サムイデスネー。  
 (32) A 居るよ ○イル<sup>→</sup>ヨー。  
 B 居ます ①イル<sup>→</sup>ヨー。／②オリマス。(多く使う)  
 (33) A よかったねえ ①ヤー ヨ<sup>→</sup>カッタネー。／②カ<sup>→</sup>エラレテ ヨ<sup>→</sup>カッタデスネー。  
 B よかったですねえ ○ヨ<sup>→</sup>カッタデスネー。  
 C よかったですねえ ○カ<sup>→</sup>エツテコレテ ヨ<sup>→</sup>カッタデスネー。  
 (34) A そうか ○ソー<sup>→</sup>カイ。  
 B そうですか ①ソー<sup>→</sup>デスネー。／②ソー<sup>→</sup>デスカ。  
 C そうですか ○ソー<sup>→</sup>デスカ。

## IV. 人間関係に応じた待遇表現

### IV-1 特定表現の待遇表現

(35) その角を曲がって右へいくと～ ①コッチノホー マガッテ。／②マガッテ  
コー イクンデス。

(36) とんでもない ①トンデモナイ。／②イヤイヤー ワタシデワ ナイナイ。

N-2 多人数場面の待遇表現

(37) 「何かの世話役を頼まれ、それを引き受けるとき」 ①イヤ ワタシデモ  
ヨカッタラ サシテイタダキマス。／②サセテモライマス。

(38) 今度の旅行には参加者が少ないので、皆さん参加してほしい ○ミナサン  
スクナイノデ サンカシテ イタダキタイデスネ。

N-3 位相による待遇表現

(39)

(A) どのように挨拶をするか (B) どこへ行くのか

1. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○ドコエ イカレルンデスカー キョーワ。

2. A ○センセー オハヨーゴザイマス。

B ○キョーワ ドチラエ イカレマスカー。

3. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○ドコエ イキマスカ。

4. A ○オハヨーゴザイマス。

B ①ドコエ イキマスカー。／②ドコ イキマスノー。

5. A ○オハヨーゴザイマス。

B ①ドコエ イカレマスカ。／②キョーワ ドコエ イカレマスカ。／③キョ  
ーワ ドコエ イクノデスカー。

6. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○ドコエ イカレマスカー。

7. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○ドコ イキマスカ。

8. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○ドコエ イキマスカ。

9. A ○オハヨー。

B ○ドコ イクノー。

10. A ○オハヨー。

B ○チョット ドコ イクノー。

11. A ○オハヨーゴザイマス。

B ○キョーワ ドコ イクノー。

12. A ○オハヨーゴザイマス。

- B ○ドコ イクノー。
13. A ○オハヨー。
- B ○ドコ イクノー。
14. A ○オハヨー。
- B ○ドコ イクノー。

### Ⅲ. 総括（まとめ）

#### （1）敬語の場面差

場面差によることばの使い分けの実態は、ぞんざいな表現は、<親しい友人（女性）>、丁寧な表現は<近所の年長の人（女性）>、さらに丁寧な表現は<この土地の目上の人（男性）>となる。

#### （2）尊敬表語における《対話敬語》と《第三者敬語》

- ①<親しい友人（女性）>はぞんざいな表現（基本形）だが、②<近所の年長の人（女性）>、③<この土地の目上の人（男性）>には、デス・マス形をつけて丁寧な表現にし、敬意を表わしている。（1. ①「ゲンキダッタ」②③「ゲンキデスカ」「オゲンキデスカ」）、（4. ①「イカナイカーイ」②③「イキマセンカー」）
- 依頼の表現の場合は、<親しい友人>にはチョーダイ形を、<近所の年長の人>、<土地の目上の人>にはクダサイ形をつけて敬意を表わす。（9. ①「タバテチョーダイ」②③「タバテクダサイ」）
- 受身の表現の場合は、<親しい友人><近所の年長の人>にはモラッタ形、<土地の目上の人>にはイタダイタ形をつける。（17. ①②「ミセテモラッタ」③「ミセテイタダイタ」）、特に注目すべきは、[くださる][いただきます]は<近所の年長の人><土地の目上の人>では両方ともイタダク形の表現を使う点である。これは[くださる][いただきます]も同じ意味として理解していると考えられる。（19. 「イタダキマシタヨー」「イタダキマシタノ」/20. 「イタダイタ」）
- 文末の終助詞により、敬意の度合いが異なる。《対話敬語》においては、<親しい友人>ではノ、ノーを使い、<近所の年長の人><土地の目上の人>ではカ、カーまたは無助詞である。（8. ①「イッテルノー」②「イッテマスカ」③「イッテンデスカ」）

#### （3）謙譲表現

- 自称詞の[私]は相手への敬意に関係なく「ワタシ」となる。ワタクシは使用しない。
- 尊敬表現と同じく、<親しい友人>にはぞんざいな表現（基本形）だが、<近所の年長の人>、<土地の目上の人>にはマス形を使用し、敬意を表わす。（27. ①「アゲルカラー」②③「アゲマスカラー」）

3. また、＜親しい友人＞にはぞんざいな表現（基本形）だが、＜近所の年長の人＞にはマス形を使用し、さらに＜土地の目上の人＞にはイマス形を使用して、敬意の度合いを高めている。（25. ①「マッテルカラ」②「マッテマスカラ」③「マッテイマスカラ」）
4. 他に、謙譲語形「お～する」の「オ～シマス」形式の表現も使用される。（24. ①「マタセタネー」②③「オマタセシマシタネー」）
5. 依頼の表現では、＜親しい友人＞にはチョーダイ形、＜近所の年長の人＞＜土地の目上の人＞にはクダサイ形を使用する。（26. ①「イッテチーダイ」②③「イッテクダサイ」）
6. 終助詞のノー、カラ、カラーを文末につけて、親しみや敬意を強く表わしている点が注目される。（28. ①「カッテヤッタノー」②③「カッテアケタノー」、27. ①「アケルカラー」②③「アケマスカラー」）

（4）丁寧表現

尊敬表現と同じく、＜親しい友人＞にはぞんざいな表現（基本形）だが、＜近所の年長の人＞＜土地の目上の人＞にはデス・マス形を使用して、敬意を表わしている。（33. ①「ヨカッタネー」②③「ヨカッタデスネー」、30. ①「イクヨー」②「イキマス」）

（5）人間関係に応じた待遇表現

《位相による待遇表現》における敬意の度合いは、[どこに行くか]の表現に注目すると、上位から＜お寺の住職さん＞、＜校長先生＞、＜顔見知りの年上の男性・女性＞、＜顔知らぬ年配の男性・女性＞、＜年下の見知らぬ男性・女性＞の順となり、下位は＜同級生の男性・女性＞、＜年下の顔見知りの男性・女性＞、＜近所の中学生の男の子・女の子＞となる。（39. ＜お寺の住職さん＞「ドコエ イカレルンデスカー」、＜校長先生＞＜顔見知りの年上の男性・女性＞「ドコエ イカレマスカー」、＜顔知らぬ年配の男性・女性＞「ドコエ イキマスカ」、＜年下の見知らぬ男性・女性＞「ドコ イキマスカ」／＜同級生の男性・女性＞～＜近所の中学生＞「ドコ イクノー」）

（どうじょう まさる 札幌大谷高等学校）